

“クボタショック”から9年

アスベスト被害の救済と根絶をめざす

参加自由
無料

6月28日(土) 正午～4時半
尼崎市中小企業センター

電話 06-6488-9501 ◎阪神尼崎駅北東すぐ

尼崎集会 に参加しましょう!



▲ 損害賠償を求める声は大きく

9年前の2005年6月29、30日一クボタは79名に及ぶ自社・関連企業アスベスト被害の死亡労働者数を明らかにし、また、30日には今は亡き前田さん、土井さん、早川さんの3人が、周辺住民被害者としてクボタから見舞金を受取ったことを、患者と家族の会や支援団体と共に明らかにしました。**(公害としてのアスベスト被害)**

このクボタショックによって、まさに隠されていた日本のアスベスト被害の実態が一気に人々の目にさらされることになりました。

それ以後、石綿が原因であるがん「中皮腫」で亡くなった人は全国で増えつづけており、2012年には1400人に達しています。しかも、そのトップは兵庫県であり尼崎市です。クボタ旧神崎工場周辺の石綿被害者への支払いも260人を超えました。

私たちはクボタショックを忘れることなく、**あまりにも悲惨な結果をもたらしているアスベスト被害の実態**を広く世間の人々に知ってもらうため、今年もまた尼崎集会を計画しました。ぜひぜひたくさんご参加下さい!

プログラム

- ・映像でふり返るクボタショック
- ・稲村市長あいさつ 他
- ・アスベスト被害者は訴える
- ・尼崎市石綿被害調査結果報告(何が明らかになったのか)
……市保健所担当者・尼崎安全センター
- ・長生きできている中皮腫のケース……岡部和倫(山口宇部医療センター)
- ・音楽と「近松」を……「空をゆくツバメ」、南条好輝の「曽根崎心中」
- ・ヘルシンキで学んだこと……名取雄司(アスベストセンター所長・医師)
- ・身近にある砂利にもアスベスト……斎藤紀代美・宏(さいたま市民グループ)
- ・石綿肺がんは裁判で勝利……位田浩(アスベスト訴訟関西弁護団)
- ・石綿被害とたたかう泉南から……泉南国賠訴訟原告 他



ご案内

アスベスト相談会
AM10時～正午 会議室505にて

集会、相談会とも
どなたでも参加できます。(無料)

◀ アスベスト被害者と共に歩む岡部医師

主 催：中皮腫・アスベスト疾患 患者と家族の会／同 尼崎支部／尼崎労働者安全衛生センター 後 援：石綿対策全国連絡会議／尼崎市 ほか

お問い合わせは…TEL・FAX 06-4950-6653 尼崎安全センターまで